

●主な内容

一般会計補正予算質疑	2
議会日誌	3
12月定例会提出案件の結果	5
請願・議員提出議案・意見書	5
11月臨時会提出案件の結果	5

だ市 よ議 り会

No.198

平成24年(2012年) 2月1日



2月定例会

般会計補正予算を可決

平成23年第7回定例会を12月6日から15日までの10日間の会期で開催しました。 この定例会では、市長から提出された平成 23 年度一般会計の補正予算をはじめ、「茨木 市立コミュニティセンター条例の一部改正について」など、20件の議案を原案どおり答申・ 同意・可決しました。

また、請願1件については不採択と決定し、議員から提出された議案1件、意見書3件 を原案どおり可決しました。

経済的支援については、 させるなどにより周知を図っていく。 報収集を続け、実態把握に努めていく。 医療機関や他市の取り組み状況等の情 ない状況となっている。 も固定されておらず、専門病院等も少 :員間の情報共有に努めるとともに た、職員の知識の向上を図るため の情報を市のホームページにリンク 現時点では考 市としては

られているが、

原因が多様で治療方針 現在、国で研究が続け

不育症は、

不育症への積極的な対策を

会ホームページでもご覧いただけます。(いずれも2月中旬予定) 情報ルーム及び各図書館に設置している会議録をご覧ください。

部しか掲載できませんので、質疑者等、詳しい内容については、

主な内容は次のとおりですが、市議会だよりでは、紙面の都合上、質疑の 般会計補正予算質疑を12月6日と7日の2日間にわたり行いました。

般

補

疑

費助成についての見解はどうか。 職員の知識の向上や市民への周知 いるのか。さらに、相談業務に当たる また、その実態をどのようにとらえて が必要と考えるが、市としての認識 不育症に悩む方は多く、積極的な支援 態を不育症というが、まだ認知度が低 ·返し、結果的に子どもを持てない状』 妊娠はするが流産、死産などを繰 専門病院等も少ない状況である。 公

JR茨木駅西口駅前のバスロータリ

の動向を注視していきたい。 えてはいないが、 今後、 玉 ゃ 府

バス停への平面アクセスを JR茨木駅西口駅前

では、 年度中にJR茨木駅西口の三菱東京U あった。以来、 バス停へ平面横断できたことが好評で J銀行前に信号機が設置されるとい 平成16年に実施した交通社会実験 JR茨木駅西口駅前において 時間が経過したが、今

とができない場合などでも、栄養バラ の良さを維持しながら、弁当を作るこ などから、現在定着している家庭弁当 また、一度に全校で実施できないこと どのような議論をしているのか。 者等からの意見聴取をしていると聞い きるよう選択制の中学校ランチ事業を ンスに配慮した中学校ランチを活用で 完全給食には経費や施設整備の問題 施してきた理由としては、全員喫食の ているが、運営経費の検討などを含め、 中学校でランチサービス事業を実

ではないか。 停への平面アクセスの整備を図るべき うことなので、これを機会に、

けて、引き続き取り組んでいく。 行っており、平面アクセスの実現に向 る。現在、警察やバス事業者と協議を いことが課題であることは認識してい アクセスについては、平面横断できな JR茨木駅西口駅前バス停への

南館1階

らないため、 導入に関して、 択した理由は何か。また、中学校給食 あり、12月中に結論を出さなければな 事業を実施しているが、この事業を選 本市では中学校でランチサービス 実施自治体の視察や保護 大阪府から意向調査が

れまでの検討結果を踏まえながら議論 経費に約3億円と試算しているが、こ 総合的に判断していきたい。

肺炎球菌ワクチンの 公費助成は

エンザワクチンと同時接種すれば、 が有効とされており、季節性インフル 肺炎球菌が原因であると報告されてい 問題となっており、そのうち、 考えはないか。 ワクチンとあわせて、 の命を守るためにも、 り効果があると言われている。 る。その予防には、 高齢者の肺炎による死亡は深刻な 肺炎球菌ワクチン 公費助成をする インフルエンザ 40 %は 高齢者 ょ

医療費削減にもつながることから、 症の8割に効果があるとされており、 高くなっている。肺炎球菌ワクチンの ており、 次いで我が国第4位の死亡原因となっ 肺炎は、がん、 高年齢になるほどその割合が すべての肺炎球菌による感染 心臟病、

> き続き、 合的に検討していきたい。 他市の状況を参考として、 総

> > に役立つ共存共栄できる施設運営にな

ることが求められている。

高槻市の関

立命館大学の市民開放施設の あり方は

西大学でも、

市の補助対象施設である

ターが開学から2年経過しても、 コンベンションホールや生涯学習セン

大

市民には開放

そうした状

市民開放施設は、 本市も経費を負担する立命館大学 市民の利便性向上

対する市民の期待は膨らんでいる中

市が補助金を支出しても、

市民の

況があるとされている。 されておらず、全国でも、 学利用で満杯」として、

ホール建設に

 \bigcirc



立命館大学の建設予定地 設するもので、 考えるが、市の見解はどうか。 利用がままならない可能性は大きいと り、その趣旨にのっとって利用される 設は市民が利用できることを前提に建 決定していくことになる。 要なルール等については、 市民開放施設の運営等のための必 今後も協議を進めていく。

市と大学の間で協議し、

市民開放施

今後、具体

安全な生活道路のための

ちにかまぼこ型になっている道路があ 時に補修しているが、 の認識と対応についてはどうか。また、 等にとっては通行が困難であるが、そ る。このような道路は、 行するメリットとデメリットは何か。 につながると考えるが、 ∪型側溝からL型側溝(※)に移行す 道路がかまぼこ型の舗装となっ 生活道路に傷みがあれば、 道路の有効利用と利便性の向上 補修を重ねるう 高齢者や幼児 L型側溝に移 市は即

議会日誌

本会議(初日)

本会議(2日目)

民生常任委員会

文教常任委員会

建設常任委員会

総務常任委員会

議会運営委員会

議会広報委員会

議会基本条例検討部会

議会広報等検討部会

※議会改革の取り組みについ 市議会ホームペー

幹事長会

15日 本会議(最終日)

をご覧ください。

月)

(12

6 ⊟

9 ⊟

13 ⊟

 \Box 8 🛭

> デメリットもあるので、 清掃できるというメリットがある一方 ては、道路の有効幅員の確保や容易に U型側溝から L型側溝への移行につい げるなど、解消に努めている。 ている箇所があることは認識してお に応じて選択していきたい。 (こうばい) になるよう舗装面を下 豪雨時には浸水してしまうなどの 舗装の打ち換え時に適正な横断勾 各地区の特性 また、

対応は コミュニティセンター化への

すべきではないか。 あれば、一定の期限を設定するととも の方に利用してもらえると考えるので ターに移行することで、より多く地域 市として、公民館をコミュニティセン 受付臨時職員を含めた管理体制をどの に、行政として、できる限りの対応を ようにしようと考えているのか。また、 公民館の来年度の運営につい

大学も同様の認識にあ

的に理解を得られるよう取り組んでい 営委員会を設立いただき、 は困難であると考えるが、現在、 から、移行に一定の期限を設けること の方の理解を得る必要があることなど ミュニティセンター化するには、 き運営していく。また、 23年10月に変更した管理体制で引き続 行っているところであり、 において、各種団体が参画する管理運 公民館の運営については、 公民館をコ 今後も積極 働きかけを 地域 地域 <u>\| \</u>

だ市 よ議 り会

今後の取り組みは 文化財資料館の

映像や資料を展示してはどうか。 また、昨年度は来館者が増加したが、 7 を開催したことなどが考えられる。 となっており、来館者増加の要因とし で、その割合は市内が97%、市外が3% 体の活性化のため、この作品に関する すためだけでなく、本市の文化政策全 れると聞いているが、来館者数を増や 家ヤノベケンジ氏の彫刻作品が設置さ 月に、阪急南茨木駅東口に現代美術作 その要因は何か。さらに、平成24年3 割合はどのようになっているのか。 昨年度の来館者数は1万2千425人 昨年度の来館者数及び市内・市外 文化財資料館の利用状況につい 茨木城などの人気の高い企画展 ま



像や資料などを展示することについて とともに、 るが、作品の展示可能場所を検討する 資料館の性質に少しなじまないと考え 歴史、考古、民俗資料を展示する ヤノベ氏の彫刻作品に関する映 運営審議会にも諮っていき

市民のための行財政改革を

ブリックコメントを実施するなどによ もので、簡素で効率的・効果的な行財 や方法を検討しているとのことである 共有を強調しており、そのための手段 れてきたが、この改革は誰のための改 さまざまな検討や見直しなどが進めら 公開や外部委員としての市民参画、 共有にも努めている。さらに、 ホームページや広報誌を活用した情報 行財政改革全般の目的や内容等につい 旨や内容の周知に努めている。また 段階から説明会等を開催し、改革の趣 変更を伴う改革などについては、 いる。情報共有のための手段や方法と 政運営とサービスの向上を目的として 策推進プランの中では、市民との情報 革で、その目的は何なのか。また、政 して、特に負担を求めたり、手続きの どのようなものを考えているのか。 市民の理解と協力を得られるよう 透明性の確保を図っている。 行財政改革は、市民のために行う これまで、行財政改革については 検討委員会を設置し、 会議の 検討過

問 障害者就労体験の取り組みは

れていない課に、そのノウハウを積極 場として、民間企業に障害者雇用の促 入れが始まった。このことは、 れた課の経験値を取りまとめ、 ようなものであったか。また、 と考えるが、これまで受け入れた障害 進を働きかける上で有効なものである から市役所庁舎内での就労体験の受け 者の延べ人数と、その仕事内容はどの 障害者の就労移行に向けて 、受け入 受け入 公の立

しては、 みを検討していきたい。 入れに係る経験や実績をマニュアル化 業などである。また、これまでの受け 61人の実習生を受け入れており、主な 度で64人、平成23年度は11月末までで 民間企業でも活用されるような取り組 なるよう取りまとめ、さらに、 クス貼り、封入作業、パソコン入力作 仕事内容としては、 的に伝えていくべきではないか。 し、これから受け入れる課への参考と 障害者の庁内職場実習の実績と 平成21年度で23人、平成22年 郵送物のインデッ 今後、

本市教育の誇れるべき点は

べき第一点は、教職員が情熱を持って 職員や新住民が知り、 子ども達を育てていることと考えてい 本市教育の誇れる点を、 本市が築いてきた教育の誇れる 語ることは、 新任の教 \Rightarrow



体育の授業でなわとびの練習をする児童

うなことだと考えているのか。 れたいと思っていることは何か。 今後の教育施策について、特に力を入 後の市民の力になると思うが、 どのよ また、

ると考えている。 じめとした快適な学習環境の提供など り生涯学習社会を充実させることであ 社会教育と学校教育の連携・連動によ まちづくりを進めていることであり や図書館などの教育施設で生涯学習の ていること、また、生涯学習センター 成に重点を置きたいと考えている。 であり、子ども達の学力、体力の向上 教育の充実、また、エアコン設置をは 的な学力・体力向上の取り組みや支援 ステップアッププラン25」による計画 下校の安全確保などが活発に展開され 活動や保護者、ボランティアによる登 涯学習については、 と夢を持てる進路選択ができる力の育 学校教育については、 地域住民の公民館 「茨木っ子

12 月 定例 会提出案件 **の** 結 果

平成23年度補正予算を可決

◆一般会計補正予算(第3号) 7億2963万1千円の減額

◆人権擁護委員推薦につき意見を求めることについて 西之辻 功

◆人権擁護委員推薦につき意見を求めることについて ◆人権擁護委員推薦につき意見を求めることについて

◆人権擁護委員推薦につき意見を求めることについて

◆茨木市教育委員会委員任命につき同意を求めることについて 八木

◆茨木市有功者を定めることについて

◆茨木市有功者を定めることについて

◆茨木市保育所における保育に関する条例の一部改正について

◆障がい者制度改革推進本部等における検討を踏まえて障害保健福祉施策を見直 する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例の制定について すまでの間において障害者等の地域生活を支援するための関係法律の整備に関

◆茨木市立コミュニティセンター条例の一部改正について ◆茨木市立太陽の里条例の一部改正について

◆茨木市真砂・玉島台地区地区計画の区域内における建築物の制限に関する条例 ◆茨木市都市公園条例の一部改正について の制定について

◆茨木市畑田町南地区地区計画の区域内における建築物の制限に関する条例の制 定について

◆茨木市立老人福祉センターの指定管理者の指定について ◆茨木市立障害者デイサービスセンターの指定管理者の指定について ◆茨木市立老人デイサービスセンターの指定管理者の指定について

◆市営土地改良事業の施行について ◆茨木市立コミュニティセンターの指定管理者の指定について

◆平成23年度大阪府茨木市一般会計補正予算(第3号)

※12月定例会の議案(意見書を含む)内容については、市役所南館1階情報ルームに設置 議会ホームページでもご覧いただけます。 しています資料をご覧ください。なお、12月定例会市長提出案件の概要については、市

氏 氏

同 意

原案可決 原案可決

山本

晃嗣

氏

原案可決 原案可決

原案可決

原案可決 原案可決 原案可決 適答

山田

ひろ美

(適

原案可決

原案可決

適答 任申 任申 任申 任申

15日の本会議で採決の結果、次のとおり決定しました。

12月定例会に提出された請願は、民生常任委員会での審査を経て、12月

原案可決 原案可決 原案可決

請

뗊

中村

憲次

氏

原案可決

◆請願第2号

乳・幼児期から学童期までの保育・学童保育、子育て支援施策の拡充を

【不採択】

浦野

祐美子

氏

辻口

恵美子

氏

求めることについて

章治

氏

原案可決

議員提出議案

12月15日に議員から提出されました議案の結果については次のとおりです。

◆茨木市議会政務調査費の交付に関する条例の一部改正について 【原案可決】

可決された意見書

可決された意見書を関係機関に送付しました。

◆国民生活の安心と向上を図る各種基金事業の継続を求める意見書

◆歯科口腔保健のさらなる推進を求める意見書

◆子ども・子育て新システムに関する意見書

 (全会一致)

月 臨 時会提出案件 の結果

11

市長から提出された議案1件を可決しました。 平成23年第6回臨時会を11月30日に開催しました。この臨時会では

一般職の職員の給与に関する条例等の一部改正について

[原案可決]

だ市 よ議 り会